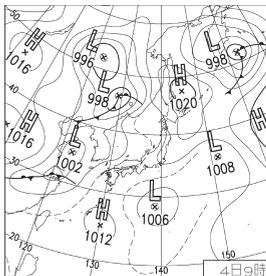


# 日々の天気図

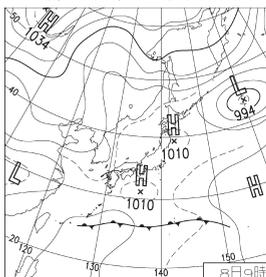
— No. 76

2008年5月

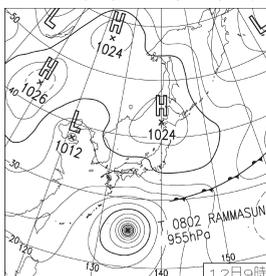
- 13日, 寒気の影響で四国大雨. 高知県香美市繁藤234 mmの日降水量.
- 20日, 東~北日本を低気圧通過. 静岡県伊豆市天城山1246 mm/24 h, 北海道浦河町37.5 m/sの瞬間風速.
- 28日~29日, 低気圧通過, 西日本大雨. 24時間で鹿児島県さつま町244 mm, 和歌山県串本町205 mm.  
(気象庁予報部予報課)



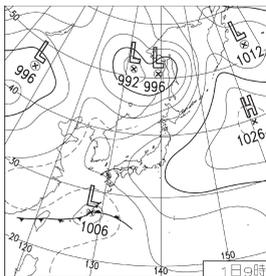
**4日(日)日本海側中心に高温**  
日本付近は高気圧圏内. 関東~東北の太平洋側は湿った風が入り曇りや弱い雨. その他は全国的に晴れ. 岐阜県飛騨市神岡で最高気温33.3°C. 兵庫県, 京都府, 新潟県でも真夏日.



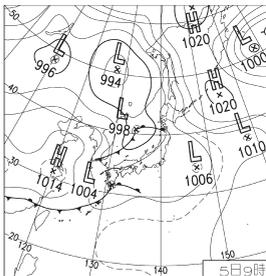
**8日(木)台風第2号発生**  
北日本や南西諸島の一部で雨. その他の地域は高気圧に覆われ晴れや曇り. 01時45分頃茨城県沖を震源とする地震 (M7.0). 最大震度5弱. 03時にミランダオ島の東で台風第2号発生.



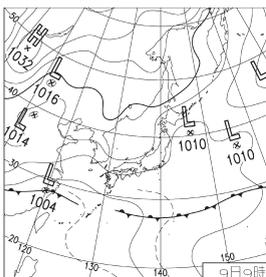
**12日(月)台風, 南海上に北東進**  
高気圧が北日本を覆い, 北日本~北陸~西日本は概ね晴れ. 一方, 関東~東海地方は台風第2号からの雲がかかって一日中曇り, 関東南部では3月下旬並みの低い気温だった.



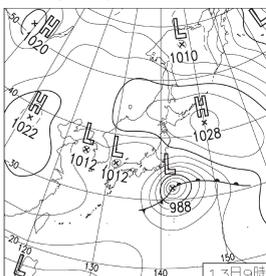
**1日(木)北海道で真夏日**  
北海道オホーツク海側はフェーン現象もあり昇温. 前線や東海上の高気圧の縁を回る湿った空気の影響で, 南西諸島や西日本の太平洋側は雨や雷雨. 沖縄県波照間島69 mm/1hなど.



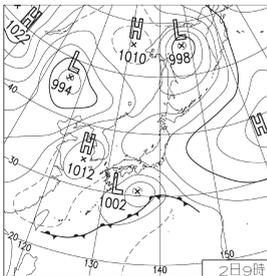
**5日(月)こどもの日 各地で雨**  
九州付近と日本海を低気圧が東進. 西日本の雨は西から次第にやみ, 東日本太平洋側は曇りから雨へ. 日本海の低気圧からのびる寒冷前線の通過した北日本や北陸も一時雨や雷雨.



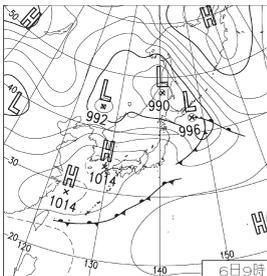
**9日(金)北日本に強い寒気**  
北海道の上空に3月下旬並の寒気が流入. 北海道や東北北部の所々で雨. オホーツク海側は雪の所も. 西日本は曇り, 東日本~東北は概ね晴れ. 九州は夜に雨.



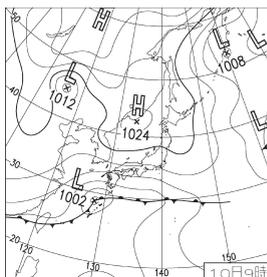
**13日(火)八丈島の南を台風通過**  
台風第2号が八丈島の南を通過. 八丈島西見で36.1 m/sの最大瞬間風速を観測. 西日本は上空に寒気を伴った低気圧の接近で雷雨. 鳥取県米子でひょうを観測.



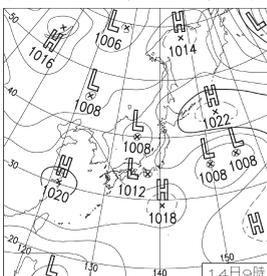
**2日(金)サイクロン, ミャンマーを直撃**  
低気圧が本州南岸にあり, 沿岸部では雨, 湿った暖かい空気の影響で八丈島では32.5 mm/1hを記録. 夜からは, 伊豆諸島近海や千葉県南海上で雷を観測.



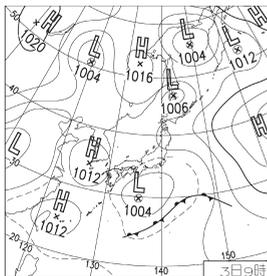
**6日(火)振替休日 火曜に初適用**  
北日本は低気圧や寒気により所々雨や雷雨. 南西諸島は前線の影響で曇りや雨. 東~西日本は高気圧に覆われ乾いた晴天. ミャンマーのサイクロン被害が次第に明らかに.



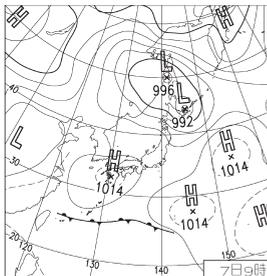
**10日(土)春の初めの寒さ**  
日本海中部に高気圧があり, 日本の南には前線が停滞. 北日本では晴れた所もあるが, オホーツク海側では雪の所も. 関東から西は雨. 気温は全国的に低く3月中旬~4月中旬並.



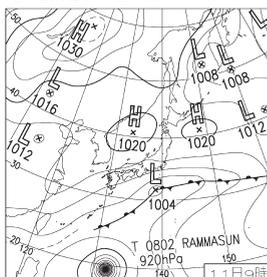
**14日(水)強い雨 東~北日本へ**  
低気圧が日本海と本州南岸を通過. 明け方に紀伊半島で非常に激しい雨となり, 和歌山市友ヶ島で69 mm/1h. 日中かけ, 西日本は晴れ. 長野市で8ミリのひょう.



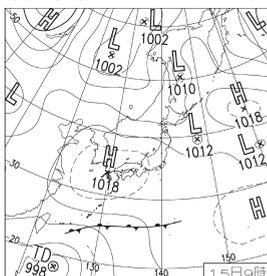
**3日(土)西日本で真夏日**  
低気圧の影響で北海道や東海から関東にかけて雨. その他の地方は高気圧に覆われた. 高知市では最高気温32.3°C. 5月として観測史上最高を記録した.



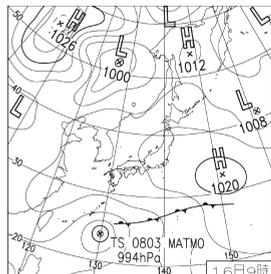
**7日(水)北日本に強風**  
東~西日本付近は高気圧に覆われ晴れて気温も上昇. 北日本では北海道付近の発達した低気圧に吹き込む南西または西の風が強くなり, 最大瞬間風速が25 m/sを超えた所もあった.



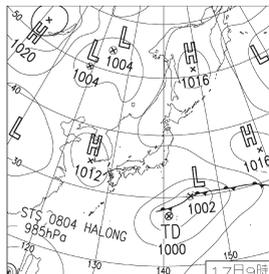
**11日(日)若葉寒続く**  
伊豆諸島の南方海上を前線や低気圧が東進. 東日本の雨は止み, 西日本以南は次第に晴れ. 北~東日本の最高気温は依然3月中旬~4月並で, 東北・関東には3月上旬並の所も.



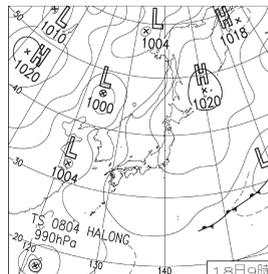
**15日(木)台風第3号発生**  
東北部~九州にかけて移動性高気圧に覆われて晴れ, 最高気温が平年並みに近づく. 上空寒気が残る北日本と前線近傍の先島諸島や小笠原諸島では雨や曇り.



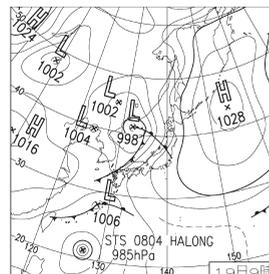
**16日(金)根室市 サクラ開花**  
台風第3号は日本の南海上を北東進、南シナ海に台風第4号発生、南西諸島を除き高気圧に覆われて概ね晴れ、午後上空の寒気が本州付近へ流れ込み、山沿いを中心に所々で雨や雷雨。



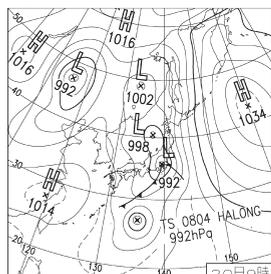
**17日(土)台風第4号 ルソン島へ**  
台風第3号は、小笠原諸島近海で熱帯低気圧になった後消滅。16日に発生した台風第4号は、南シナ海からフィリピンのルソン島に上陸、北東進、北～東日本は所々で雨や雷雨。



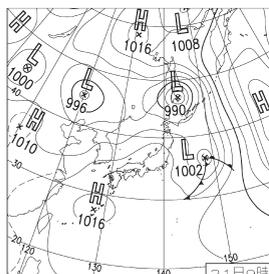
**18日(日)北海道の霧**  
日本列島はオホーツク海に中心を持つ高気圧に広く覆われ、おおむね晴れ。北海道は午前中を中心にこの季節特有の霧、沿岸部だけでなく内陸部でも霧となるところがあった。



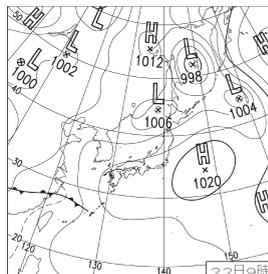
**19日(月)2つの低気圧**  
低気圧や前線に近い沖縄は大雨で、国頭村比地で65 mm/1h、西日本は、日本海と南海上の低気圧や前線の影響で全般に雨。夜には東海～関東でも雨。北海道釧路市サクラ満開。



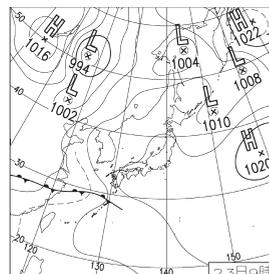
**20日(火)台風は温帯低気圧に**  
前線を伴った発達中の低気圧が関東付近を北東進。東～北日本は雨となり、太平洋側は風も強く大荒れ。神奈川県海老名市で51.5 mm/1hなど所々で非常に激しい雨。



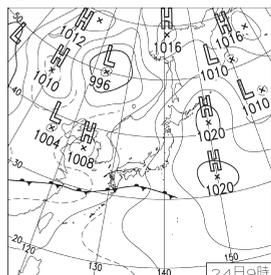
**21日(水)穏やかな晴天**  
低気圧がオホーツク海を北上、台風第4号から変わった低気圧は日本の東海上を北東進。所々雨の残った北海道や高気圧の縁にあたる先島諸島を除き、高気圧に覆われて概ね晴れ。



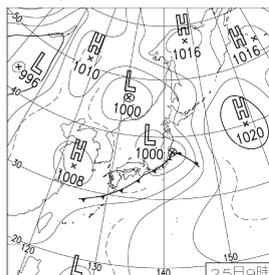
**22日(木)沖縄・奄美梅雨入り発表**  
前線が東シナ海に形成され活発化、沖縄と奄美に梅雨入り発表。北海道は気圧の谷の影響でにわか雨。その他は本州東海上の高気圧に覆われて晴れ。



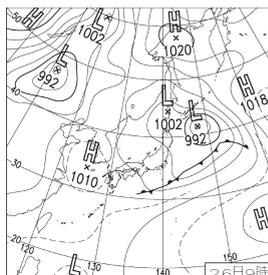
**23日(金)真夏日続出**  
南西諸島は曇りや雨。本州は高気圧に覆われ各地で晴天。関東地方を中心に真夏日続出。群馬県館林市で最高気温32.2℃。東京都小笠原村父島でも5月の史上最高30.0℃を記録。



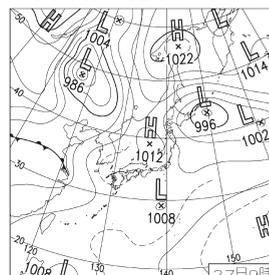
**24日(土)西日本は雨の一日**  
本州の南岸に前線停滞。西日本は終日雨で、九州、四国は雨足強く、30～40 mm/1hの激しい雨。午後には東日本、夜には東北南部まで雨。北海道は北部を中心に晴れ。



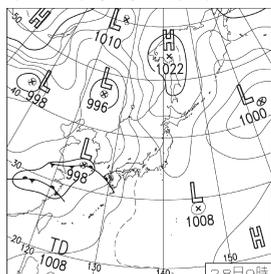
**25日(日)全国的に雨**  
関東の東に低気圧。前線が本州南岸沿いにのびる。ほぼ全国的に雨。関東から西の太平洋側は大雨の所も。徳島県三好市京上で50 mm/1hの激しい雨。朝の最低気温は6月中旬並。



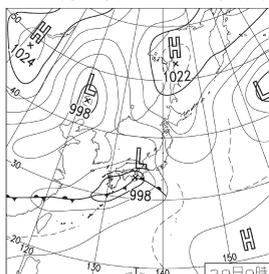
**26日(月)寒気通過で不安定**  
前線は南下し、本州付近は西から高気圧に覆われて晴れ。高気圧の南縁にあたる南西諸島は曇りや雨。昼前から北日本の上空を寒気が通過。北～東日本は所々で激しい雨や雷雨。



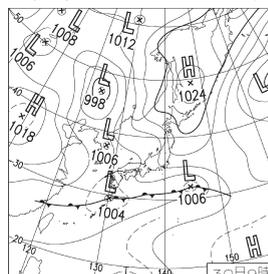
**27日(火)台風第5号発生**  
東～西日本は日本海に中心を持つ高気圧に覆われて良く晴れ。九州～南西諸島を中心に7月上旬の暑さ。最高気温が九州北部では33℃を超え、岐阜県多治見市でも31.3℃となった。



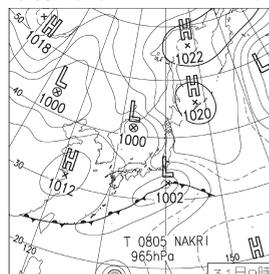
**28日(水)雨の季節本州へ**  
北日本や東日本は高気圧に覆われおおむね晴天。西日本には前線を伴った低気圧が接近。熊本県上天草市松島で62 mm/1hの激しい雨。九州南部と四国に梅雨入り発表。



**29日(木)鹿児島県 未明に大雨**  
西日本の太平洋側中心の大雨は明け方までに峠を越し、雨雲は東日本に移る。鹿児島県さつま町紫尾山で71.5 mm/1h。関東～東北の太平洋側は日中肌寒い。北海道は概ね晴れ。



**30日(金)関東以北は肌寒**  
オホーツク海に中心を持つ高気圧から吹き出す冷たい北東風のため北日本～関西の太平洋岸は雲多く所々で弱い雨。本州南岸の前線近傍の四国～沖縄でも雨。

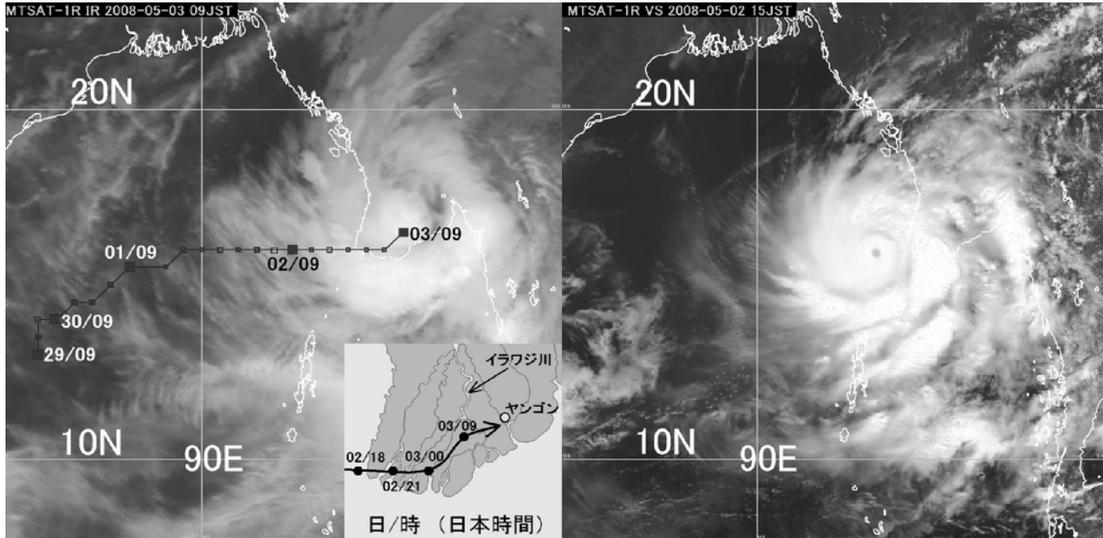


**31日(土)九州、山陰で黄砂観測**  
本州は気圧の谷や前線の影響で雨の所が多いが、九州～中国は西からの高気圧に覆われて晴れ。北海道も北部を中心に晴れ。関東では低温が継続。最高気温は3月下旬並。



## 今月のひまわり画像—2008年5月

### ミャンマーを襲ったサイクロン・NARGIS(ナルギス)



5月3日9時(日本時間)の赤外画像とナルギスの経路(実線)

5月2日15時(日本時間)の可視画像

昨年11月15日にサイクロン・SIDR(シドル)がバングラデシュを襲い、大きな被害をもたらした。それから半年も経たない今年5月2日～3日にかけて、同じベンガル湾に面したミャンマーを、サイクロン・NARGIS(ナルギス)が直撃した。ミャンマー南部では激しい暴風雨と洪水・高潮に見舞われ、犠牲者は10万人以上となる予測もあり(5月末現在)、当国史上最悪の自然災害となった。

ナルギスは4月27日にベンガル湾中部で発生し、しばらくはほとんど発達せずゆっくり北寄りに進んでいたが、5月1日ごろから東進を始めるとともに急速に発達し(左図:ナルギスの経路はRSMCニューデリーの速報値による)、ミャンマー上陸直前の5月2日15時(日本時間)ごろ最盛期となった(右図)。このときの勢力は、中心気圧962 hPa、最大風速45 m/s(10分間平均)、最大瞬間風速60 m/sであった(RSMC

ニューデリーの速報値による)。ナルギスは2日18時～21時(日本時間)の間に、明瞭な眼を持ったままミャンマー南部に上陸し、その後衰えながら3日9時(日本時間)にはヤンゴン市の南西に達した。

ナルギスの上陸時の勢力は、日本の気象庁の基準では「非常に強い」に相当し、日本に上陸する台風と比較しても、強い部類のものであったが、これほどの被害になった原因の一つとして、ナルギスの経路がミャンマーにとって最悪のコースであったことがあげられる(左図右下経路図)。イラワジ川流域ではナルギスの接近・上陸前から長時間にわたって強い雨が続き、ナルギスがイラワジ川デルタの低湿地帯に沿って移動したため河口が南側に開いた沿岸部では強い南寄りの風により高潮が発生し、洪水と合わせて大規模な水害が発生したと考えられている。

(気象庁予報部予報課 池田博文)